

広島県鉄構工業会60人

BIM活用セミナー開催

新年会

（理事長＝山本泰徳・
ステントス社長）は23
日、広島市のシェラト
ンクランドホテル広島
で新年互礼会を開催、
組合員のほか広島県、
関連団体や大学などから
来賓も訪れ、約60人
が参加した。互礼会の
前には、BIM活用に
関するセミナーも開か
れた。



山本理寧

が祝辞を述べ、広島大学の松尾彰名誉教授が乾杯を発声。歓談中には、このほど新規会員となつた梶田鉄工の梶田哲也社長があいさつに立つた。

セミナーでは、トリノブル・ソリューションズの浜崎幸三カンントリーマネージャーら3人が、トリノブル社の構造向けBIMソフトウェア「Tekla Structure」の概要、活用事例と導入効果などを紹介した。

新年互社会の眞理 山本理事長は「各業界でシステムは進化しており、例としてタクシー業界はここ数年のタクシーアプリの普及で大きく変わった。ドライバー、利用者とともに利便性が高まり、若いドライバーも増えていく。建築業界でも各種システムの進化、各業者での導入が広まっている。われわれの業界も労働時間の制約などを受け、作業効率を大幅に上げていかなければならぬ。周りの変化に気付き、新しいツールの活用で生産性を高めるなどし、ともに前進していく」とあります。

その後、広島県土木